



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とての かふち

《学校だより》 第13号

令和2年10月19日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 北村和裕

10月9日(金)に前期を終えて、12日(月)から後期に入りました。1年生は、臨時休業があったので実質4ヶ月の学校生活でしたが、だいぶ慣れてきたようです。6年生にとっては、あと半年で卒業です。1日1日を悔いなく精一杯過ごし、思い出をたくさん作って巣立っていくよう願っています。

10月24日は運動会

いよいよ運動会が迫ってきました。どの学年も、練習に熱気がこもってきました。体育館や運動場、多目的室や渡り廊下でも元気に練習する姿が見られます。昨年までは、表現は1・2年、3・4年、5・6年の2学年ごとに行っていましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、練習中も密にならないように学年ごとに行うようにしました。各学年で工夫を凝らしながら進めています。



旗を使った表現 5年生

児童会で決まった運動会のテーマは、「コロナにまけずに元気であかるい運動会」です。今年はコロナ対策のため、お弁当は食べず午前中のみの開催や、各学年の種目は徒競走と表現のみなど活動が制限されます。ですから、例年のような運動会とはなりません。しかし、毎日目にする、子どもたちの運動会に対する取り組み姿は、例年と変わりありません。今年は、今年ならではの運動会にしていきたいと思います。子どもたちも教職員も、保護者の皆さまも「元気で明るい運動会」にするために、心を1つにして取り組んでいきましょう。

安全・安心な町を願って

湯河原の町には交番と駐在所があります。交番は警察官が複数で交代しながら番をするところ、駐在所は1人の警察官がそこに住んで勤務するところです。湯河原の観光会館の近くに湯河原駐在所があります。そこで勤務しているのは森山巡査部長さんです。2年前に湯河原に越してきて、前任の方から引き継いで勤務されているそうです。

本校でも森山さんには大変お世話になっています。毎朝子どもたちが登校する時間に、本校の校門の前や五所神社の横断歩道のところなどに立って安全な通学ができるように見守ってくださっています。また、1年生の泉公園への遠足の時は、みんなで駐在所に寄らせていただき、いつも見守ってくれていることに対するお礼の言葉を伝えました。さらに、3年生の社会科の「はたらく人とわたしたちの暮らし」の単元の警察官の仕事についての学習では、ゲストティーチャーとしてお招きして、警察官の1日の勤務や苦労したことなどを話してもらいました。冒頭の「交番と駐在所」の違いもその時に伺ったものです。警察手帳や警棒、パトロールカーやその中に積んであるさすまた、防弾チョッキなども見せてもらいました。テレビのドラマではよく見るものですが、目の前で本物を見せていただき、子どもたちはただ驚くばかりでした。

森山さんは、この町にずっと住んで駐在を続けていきたいそうです。今の子どもたちがやがて大人になっていくときにもずっと見守り続け、みんなでこの湯河原町をより安全・安心で住みやすい町にしていきたいという願いをもっているそうです。



遠足で駐在所を訪れた1年生



森山さんの話を真剣に聞く3年生

